

日本測量者連盟会員の皆様

日頃より、日本測量者連盟の活動に、ご理解、ご支援いただきましてありがとうございます。
FIG よりメッセージが届きましたので会員の皆様に展開いたします。

日本測量者連盟

FIG ニュースレター2023年8月号 - FIG 作業週間 2024 の論文募集とその他のイベント
原文（英文）をご覧になる場合は、[ブラウザでニュースレターにアクセスしてください。](#)
国際測量者連盟

皆様、

2023 年後半は忙しい年になりそうです。このニュースレターには、分科会やヤング・サーベイヤーズ・ネットワークの年次総会、ワークショップ、会議、気候に関するオンライン・ウェビナーなど、エキサイティングなイベントが満載です。各イベントには、世界をより良い場所にするための具体的な意図が込められています。自分に合ったものをチェックしてみよう。これらのイベントは、アクラで開催される作業週間 2024 でクライマックスを迎えます。ガーナという国、文化、関連するトピック、そして友好的なホストをより深く知ることができる、特別な経験とまたとない機会になることは間違いありません。同僚と共有したいエキサイティングな研究や実践をお持ちですか？まずは論文要旨を提出してください。学術関係者の方には、優秀な同僚による査読を受ける可能性を提供しています。2023年8月に開催される UN-GGIM ミーティングと、ISC からの2つの興味深いオファー（欠員募集と賞）についてもお読みください。

FIG 作業週間 2024 - 論文募集

アクラ・ガーナで開催される FIG 作業週間 2024 にご参加ください。FIG 作業週間 2024 は、Licensed Surveyors Association of Ghana (LiSAG) と Ghana Institution of Surveyors (GhIS) の2つの国内団体と協力して開催されます。美しい国ガーナを発見し、世界中から集まった仲間とアクラで一生に一度の経験をしましょう。

作業週間の全体テーマは、

あなたの世界、私たちの世界：すべての人のための強靱な環境と持続可能な資源管理

です。

ぜひ論文要旨を提出し、持続可能な未来構築のためのグローバルな対話に貢献してください。

2015年にすべての国連加盟国によって採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、「人」、「地球」、「パートナーシップ」、「平和」、「繁栄」という5つの重要な次元を核とする、共通のブループリントを提供しています。持続可能な開発目標の達成まであと10年を切った今、世界の指導者たちは、持続可能な開発のための10年間の行動と実現を呼びかけ、誰一人取り残すことなく、2030年の目標期日までに目標を達成することを誓いました。FIG作業週間2024は、FIGのビジョンである「社会への奉仕、人々と地球の利益」に立脚し、地球と天然資源の健全性に特に関連するグローバルな課題への取り組みに焦点を当てます。

天然資源の利用は、国際的に認められている持続可能性の3つの側面、すなわち社会正義、環境の健全性、経済発展のすべてに関係している。最貧国は、増大する汚染と劣化した環境、そして資源の所有、使用、採掘に関する世界政治の結果によって、直接に苦しまされています。

アジェンダ2023から一節を取ると、私たちは、持続可能な消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動に対する早急な対策などを通じて、地球を劣化から守り、現在世代と将来世代のニーズを支えることができるようにすることを決意しています。持続可能な開発と気候変動対策は表裏一体であり、どちらもSDGsの達成には不可欠です。

さらに、教育、能力開発、そして何よりも若者の参画の重要性は、私たちの多様性 diversity と万人の受容 inclusion の重要な特徴となります。地理空間技術と政策が接続性と持続可能性において重要な役割を果たしており、適切な規制と継続的な技術革新により、強靱な環境と持続可能な天然資源管理を確保するための主要な手段となってきました。

私たちは、より環境に優しく、より強靱な世界の進歩に貢献するトピックにおいて、議論と行動のための洞察を提供する論文投稿を募集し、以下の全体的なトピックにおける研究者と実務家の質の高い貢献を奨励します。

- 土地と鉱物資源
- 水、海洋
- 土地管理と統治（都市化と地方の地理空間を含む）
- 技術と倫理

論文要旨を投稿することからあなたのアクラでの参加の準備を始めましょう。

- 査読付き要旨および論文全文の締め切り 2023年10月1日
- 通常論文の要旨の締め切り 11月1日（論文全文は2024年1月8日）
- [論文募集の全文を読む](#)
- [論文募集要項 pdf](#)

作業週間の準備は www.fig.net/fig2024 でフォローしてください。

FIGからのニュース

UN-GGIM 専門家委員会第13回会合

FIG ダイアン・ドゥマシー会長と FIG 分科会のメンバー数名が、地球規模の地理空間情報管理（UN-GGIM）に関する国連専門家委員会の第13回会合に出席しました。

[報告書を読む](#)

FIG 特別イベント

責任ある土地管理のためのデジタルトランスフォーメーション

FIG 第2分科会と第7分科会は、2023年10月2日～4日、Deventer(Overijssel)の Locatie Punt にて、オランダ地籍・土地登記・地図庁(Kadaster)と Twente 大学の ITC が主催する合同年次会議にご招待します。

[イベントの詳細を読む](#)

Intergeo 2023 -測量・地理空間産業の最新情報

FIG を通じて、2023年10月10日～12日にドイツのベルリンで開催される大規模な見本市 Intergeo の無料入場券を確保することができます。FIG のブースで会いましょう。

[イベントの詳細を読む](#)

第11回土地管理ドメインモデル/3D 土地管理に関する FIG 国際ワークショップ

第11回土地管理ドメインモデル/3D 土地管理に関する FIG 国際ワークショップは、2023年10月11～13日にスウェーデンのゲーブルで開催されます。

[ウェブサイトへ](#)

気候コンパス タスクフォース ウェビナー

10月11日のウェビナーにご参加ください：気候強靱化と、土地、水、海洋の目的適合型 (fit-for-purpose) 測量について語り、いつものビジネスから脱却しよう。今すぐ登録を。

[詳細と登録](#)

FIG ヤング・サーベイヤーズ・ネットワーク アジア太平洋地域第4回会合

ヤング・サーベイヤーズ会合は、スマート GEO EXPO 2023 の一環として、2023年11月9日～10日に韓国のソウルで開催されます。ヤング・サーベイヤーが皆様のお越しをお待ちしております。

[詳細と登録](#)

SDGsのための緩和戦略：空間情報の活用

FIG 第3分科会 Workshop 及び年次会合は2023年12月4-6日に、イスラエル、テルアビブにおいて Ramon GeoInt360 国際会議と併催されます。[特別VIP早割チケット](#)は9月15日まで入手可能（登録時に FIG3 のボックスにチェックを入れてください）。採択された論文要旨の著者は登録料が免除されます。

[論文募集](#)

今月の記事

2023年8月の今月の記事は、FIG 作業週間 2023 で発表され、NavXperience 賞が授与された査読付き論文です。

Johnson Oguntuase, Uchenna Nwankwo, Stephan Howden, USA：沖合の圧力時系列の拘束としての手頃な価格の GNSS PPP の結果。この記事で著者たちは、GNSS ブイに対する破壊行為の問題に対処するため、沖合での潮汐基準拡張のための新しい水位測定技術について説明しています。

[記事を読む](#)

国際学術会議 (ISC) からのニュース（訳注：欠員募集はすでに締切を過ぎていますが、

FIG と ISC の活動の一環を知るための参考情報として提供します)

FIG は ISC のメンバーであり、このニュースレターでは、ISC からの 2 つのニュース（欠員募集と科学者賞）を告知します。

ISC 欠員： オセアニア・プログラム・マネージャー、ニュージーランド

ISC のアジア太平洋地域フォーカルポイントでは、太平洋島嶼国の優先事項に焦点を当てた活動の計画と実施を支援するパートタイム（週 30 時間）のプログラムマネージャーを募集しています。応募資格はニュージーランド市民、またはニュージーランドでの就労資格を有する居住者であること。応募締め切りは 9 月 11 日。

フロンティアーズ・プラネット賞

ISC はフロンティアーズ・プラネット賞と提携し、持続可能性科学に携わる優れた科学者を表彰します。合計 300 万スイスフランに相当する 3 つの賞が、地球の健全性を保護・回復するグローバルに拡張可能なソリューションを提供できる世界で最も革新的な持続可能性科学者に授与されます。ISC は、9 月 20 日 13:00 (UTC) から開催される、プラネット賞のミッション、目的、仕組み、科学者の参加資格、この科学的イニシアチブをめぐる ISC の役割についての説明会に皆様をご招待します。説明会への参加登録は <https://council.science/events/frontiers-planet-prize-information-session/> から。

FIG 作業週間 2023

FIG 総会 2023 - 議事録

新会員、新名誉会長、新名誉会員の紹介も行われた総会では、来期の新たな事業計画とビジョンが紹介されました。

- [報告書を読む](#)
- [総会議事録の全文を読む](#)（全報告書とビデオ、事業計画を含む）

「こんちわ」FIG 作業週間報告

フロリダ州オーランドで開催された今年の作業週間では、国内ホストの NSPS が様々な多くの活動に加わった近隣や遠方からの参加者を歓迎しました。参加者の皆様、そしてスポンサーや出展者の皆様に感謝いたします。

- [作業週間のレポートを読む](#)
- 総会と作業週間の [フォトアルバム](#)（onedrive フォルダ）
- [会議集録](#)
- [FIG ヤング・サーベイヤーズ・アメリカ会合報告](#)

今後のイベント

[イベントページをチェック](#)

2023年9月27-29日、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ネウム

第5回地籍会議。ヘルツェグ・ボスニア測地学会主催。

[詳細情報](#)

2023年10月2~4日、オランダ・デヴェンター

FIG 第2分科会および第7分科会年次総会。

[詳細情報](#)

2023年10月10~12日、ドイツ、ベルリン

Intergeo - よりスマートな世界へのインスピレーション。

ウェブサイト：<https://www.intergeo.de/en/>

FIGを通じてご登録いただくと、FIG バウチャーコード：IG23-FIG でフェアに無料でアクセスできます。

[登録はこちらから](#)

2023年10月11日 オンライン・ウェビナー

気候コンパス対話・相談シリーズウェビナー£1: 気候強靱化と、土地、水、海洋の目的適合型(fit-for-purpose)測量について語り、いつものビジネスから脱却しよう。

[詳細情報と登録](#)

2023年10月11~13日、スウェーデン、ゲーブル

第11回土地管理ドメインモデル/3D土地管理に関する国際FIGワークショップ。

ウェブサイト：<http://www.gdmc.nl/3DCadastres/workshop2023/>

2023年10月14日、香港

HKIS 土地測量部門(LSD)年次会議 2023「地理空間インテリジェンスで都市をつなぐ」。

ウェブサイト：https://www.hkis.org.hk/en/professional_cpd2.html?id=5878

2023年11月8~10日、韓国、京畿道

Smart GEO Expo 2023。大韓民国国土交通省主催、LX（国土地理空間情報学公社）事務局・主催、LH（韓国土地住宅公社）後援。

ウェブサイト：<https://smartgeoexpo.kr/fairDash.do?hl=ENG>

2023年11月8-10日、韓国、キンテックス 2 展示センター

FIG ヤング・サーベイヤーズ・ネットワーク・アジア太平洋地域 第4回地域会合

招待：<https://www.facebook.com/events/781184816844824/?ref=newsfeed>

2023年11月21-24日、エチオピア、アディスアベバ

「アフリカにおける土地政策-アフリカ大陸 自由貿易圏の実施加速のためのアフリカにおける持続可能な土地統治の保護」に関する 2023 年会議。アフリカ連合、ECA、アフリカ開発銀行グループ主催。

[コンセプトノート](#)

論文募集

2023年12月4～6日、イスラエル、テルアビブ

FIG 第3分科会ワークショップおよび年次会合「SDGsのための緩和戦略：空間情報の活用」。第2回ラモン国際地理空間情報360（GeoInt360）会議と同時開催。

ウェブサイト：<http://geoint360.com>

FIG 第3分科会：9月15日まで入手可能なVIP早割チケットをぜひご利用ください（登録時にFIG3のボックスにチェックを入れてください）。

https://secure.eventmagix.com/2023_geoint360

論文募集

以上、よろしく申し上げます。

国際測量者連盟 局長

ルイーズ・フリス＝ハンセン

FIG 作業週間 2024

2024年5月19～24日、ガーナ、アクラ

ウェブサイト：www.fig.net/fig2024

FIG 作業週間 2025

2025年5月1～5日、オーストラリア、ブリスベン

ウェブサイト：www.fig.net/fig2025

FIG 大会 2026、南アフリカ、ケープタウン

FIG 作業週間 2027、ノルウェー、スタヴァンゲル

FIG 作業週間 2028、フランス、パリ - FIG 150 周年記念